



奈良・人と自然の会

〈わたしたちは大和の自然を愛します〉

奥明日香

有本 倍美

石舞台から東へ約1キロ弱、奥明日香の風情を色濃く残す細川谷をさかのぼり、県道の終点にある気都和既神社横の鬱蒼たる樹木の間をつづら道を上がると、急に視界が開け田畑が広がる小集落「尾曾」に着く。戸数は中心にある「威徳院」を入れてわずかに数戸、どこか落人伝説の残る佇まいである。周辺大字の冬野・畑・上・細川・上居などはこの峰上にある多武峯の旧妙楽寺(現在の淡山神社)との関係が強く、中世の興亡に明け暮れていた時、この裏山付近が隠れ家として存在していたようで、古代 中大兄皇子(後の天智天皇)と中臣鎌足が密談して蘇我氏滅亡への談合に利用されたのはこの辺りではなかったろうと言われる。現在、過疎が進み棚田は高齢者にとっての耕作不適、また、若い人達は便利に暮らせる都市生活への分離生活が強いられている。

くさぐさの紅葉分け入り尾曾の里

めひしばや二百十日を知らぬ顔

漆喰の家並の白し秋の色

峠より案山子の風の来るらし

穂(ヒツジ)田に窯煙たなびく奥明日香



多武峯から腹道を冬野、畑、入谷、栢森の集落を通過して飛鳥古道を芋峠まで、車道で途切れたところから獣道を高取城跡へ。一升坂の手前猿石を右へ下ると再び栢森の女綱に出る。この一周は「奈良人と自然の皆様」にはお勧めのコース。特に栢森から芋峠までの飛鳥古道は大海人皇子(後の天武天皇)が壬申の乱の直前、近江京から飛鳥嶋の宮を通過して吉野入りしたとき、また、持統天皇が在位中に三十数回吉野詣でに利用されたという。途中、かつての茶屋の石垣がわずかに残っており、なんともいえないロマンを感じる。この飛鳥古道は栢森の総代であった嶋村清隆さんたち森林組合の方々が再現整備されたもの。また、嶋村さんは「飛鳥川原風景を取り戻す仲間の会」の会長で、私もこの会の発起人の一人として名を連ねています。すでに結成後十年経過し、一年に五回活動している。事務局長は水谷道子さん(0744-24-5802)で森林インストラクターの国家資格を持った人。次回活動は11月16日(日)、関心のある方は覗いてみてください。

ほかに桜井や多武峯から吉野上市に通じている竜在峠、細峠があって、国学者本居宣長は竜在峠を利用して吉野へ、俳人松尾芭蕉は細峠を越えて「雲雀より空にやすらふ峠かな」の句を残している。

奈良の韋駄天さん

川井 秀夫



平成14年9月。寺田 正博氏（前 幹事）弓場 厚次氏（現 事務担当）の提唱により、県下の東海自然歩道（全長130km）、近畿自然歩道（120km）を研修コースとして、四年間に亙り実施し、人気シリーズとなりました。

四季の移ろいを感じながら自然観察は元より、文化遺産の社寺仏閣、古代遺跡、更には雄大な山河を借景に、古街道、集落の佇まいなど、「まほろば 大和」の醍醐味を満喫し、あらためて奈良の自然美と、日本の基底文化に心を打たれたものでした。

印象に残る事も数多く、柳生から笠置のコースでは刈り上げた田圃の一隅で、ヤマカガシとカエルの対決があり、捕食する瞬間カエルが大跳躍をして難を逃れる風景を見て、火事場の馬鹿力とはこの事かと少し滑稽さを覚えたものでした。

初冬。額井岳のコースではジョウビタキが逃げもせず、私の50米先をいつまでも水先案内をしてくれ、ほのぼのとした気分になった事も記憶に残ります。

山の辺の道コースでは「天理」辺りだったでしょうか、肺然とした激しい雨に会い、中止宣言をしたものの女性陣から強行の声多く、最後まで完歩し、現代女性？の勇氣に圧倒されました。

さて、この長丁場をフルコース完歩された方が四人おられます。東海 往コースの松本厚子さん。東海 復コースの勝田 緑さん。近畿コースの福谷 岑子さん、林 令子さんと正に『奈良の女韋駄天』と尊称を差し上げたいと思います。何故か男性の名前の無いのが残念ですが。

特に、松本さんの印象が甦ります。良妻賢母の雰囲気のある方で、川西市 花屋敷から参加され、執念の満願成就だったと思います。当時の感想文の一節に「出掛ける度に、この一瞬しかないと言う新しい出会いがある事を心に決めて・・・」と記されています。

家庭事情で第二シリーズ半ばで姿を消されましたが、どこかで新しい出会いを楽しんでおられる事でしょう。

福谷さん。最初に月例会でお会いした時は少しひ弱な印象でしたが、吉野・宮滝のコースでは上り道を余裕をもって克服され、人は外見で計れないなと改めて感じた事でした。

後年、私の進めでシニア自然大学で研修され、我々の山仕事にも積極的に参加され「女は強し」を印象つけてくれましたが、最近お姿を見ないのが気がかりです。

勝田さん林さんとは、身近で一緒の機会が多く後述致しますが、福谷さんといつも一緒だった吉村きつきさん。あと一回と言うところで完歩成らず、無念だったと思います。

他に柳田弥知子さん、山田 洋子さん、宮沢喜代子さん、市村ご夫妻ら限りがありませんが、益々のご活躍を祈ります。女性の名前ばかりでスママセン。

今回は忍辱山を舞台に男の群像をご紹介します。

◆【ご訂正】 前号 会計 平木 充子さんは豊島すみ子さんの誤りでした。

ソテツを喰うシジミチョウ

弓場 厚次

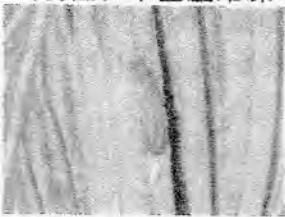
シニア自然大学の機関紙10月号に投稿された「クロマダラソテツシジミの探索」の記事より、9月28日早速 我が家の鉢植えのソテツ(樹齢20年)を観察。今年は例年になく発育が遅く8月下旬に若葉が出ると同時に先端は黄色化が始まり見事に葉の先端部が枯死。鉢の周辺に成虫が2頭、幹の根元に羽化進行中のクロマダラソテツシジミが羽を展翅始めた個体、葉の裏の幼虫、幹の葉痕の蛹の記録写真を「奈良・人と自然の会」所属で橿原市昆虫館に10月1日付で報告いたしました。このシジミチョウは東南アジア原産で迷い蝶として昨年(2007年)は八重山から沖縄諸島を北上し、鹿児島から秋には宝塚まで一気に進出しました。今年は香から宝塚・池田市周辺で多数発生し、京都・伏見の御香宮神社の樹齢400年の雌雄一対のソテツ(市天然記念物)が大被害を受けました。成虫の雌は約400個を産卵し、食草はソテツの若葉で2週間程度で羽化し、成虫として2週間生息する、かなりの移動力を持つ蝶との事です。

橿原市昆虫館には木津川市の報告(奈良県境200m)に続き、古川祐司さんの自宅(奈良市松陽台)での観察報告を10月1日に、また菊川年明さんからの「ならまちセンター」前のソテツで10月4日に観察した記録を「奈良・人と自然の会」の会員として報告しております。

奈良県下での報告は昆虫館では初記録とのことで、橿原市内では確認されていない様です。唯、情報として8月以降に富雄や生駒市内でも見つかり、学園前でも確認例があるそうで、奈良県北部では蛹などで間違いなく越冬して定着すると思われるとの事です。標本用の個体は保存し、奈良市(古川)・木津川市(弓場)の標本として昆虫館に委託しました。

来春、大事なソテツをお持ちの方はツバメシジミやルリシジミの様なシジミチョウがソテツの周辺で見かけたらご注意ください。なを、殺虫剤として有機リン系殺虫剤(DDVP乳剤)が有効との事ですが毒劇物で毒性が強く、取扱が厳重ですので安易な使用はお控えください。

(現在、中国産冷凍インゲンマメで話題のDichlorvosです。)



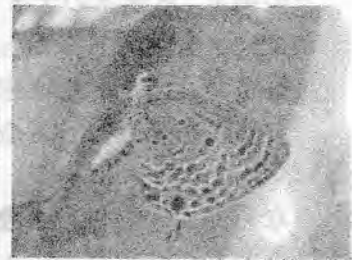
幼虫



蛹



羽化



クロマダラソテツシジミ

自然俳句欄

いちざんまい

秋耕や一三昧の人のあり 秀夫

なら山里山林。にんにく・大根の畝の整地が始まる。
春の収穫が楽しみである。「一三昧」は一生懸命の意。

9月27日(土) 快晴 シニア自然大学実習生の受入、菜の花プロジェクト 参加者43名
奈良・人と自然の会で初めての教育実習生10名を受入れた。オリエンテーション(会、ならやまプロジェクトの紹介)に始まり、活動中のA地区の樹木調査、間伐実習、伐採竹の活用、里山観察など、限られた時間に実りある体験をしていただくため、かねて準備していたマニュアルに従って実施する。昼食時はブタ汁を頂きながらの懇談会、最後は総括質疑で締め括る。和気藹々の雰囲気の中で、納得のいく実習となったのではなかろうか。この中から、ならやま里山林の景観保全活動に共感し、新しい仲間が生まれることを期待したい。

奈良生協のメンバーと協働の菜の花プロジェクトの種まき。A地区山地に隣接する畑あとの荒地を耕起し、昨年の3倍の広さを準備した。来春、一面の菜の花で埋められる風景を想像ながら、除草、間引き、土寄せ、施肥と、楽しい苦勞がスタートする。午後3時解散

9月30日(火) ならやま畑当番 3名

当番の日を活用して、芋畑のあとに、ダイコン(青首、聖護院)の種を播く。時期は少し外したが、折からの恵みの雨が遅れを取り戻してくれるだろう。12時 解散

10月9日(木) A竹林整理 b地区笹刈り DE山地観察路整備 参加者19人

A地区の山地の竹藪の整理が進むにつれて、この当りに柴栗を多く自生している事がはっきりしてくる。竹に圧倒されながらも、まだかなりの実をつけている。一息入れたところで、栗拾いする。あっという間に3リットルも取れただろうか。皆大喜びで持ち帰る。

夏期ストップしていたb地区の笹刈りを再開する。元は田圃跡のフラットな地形だから、2年後に全部刈り終えたら、素晴らしい遊びの広場が生まれることになるだろう。

DE地区の山地の自然観察路の整備事業を本格的に開始する。10名の調査隊が観察路上の倒木、危険木のチェックを一日がかりで終え、地図にプロットした。その数約200本。安全に十分配慮しながら、撤去作業を開始し来春までに散策路の整備する計画である。

第2回目の芋掘り実施。今年も味は上々のナルトキントキに感謝して、カンパ2400円。「ならやま基金」へ入金させていただきました。ご芳志に多謝。 3時解散

「ならやま山の日」が設けられました

10月の幹事会で、11月以降、全員が山作業に従事する「ならやま山の日」を設けることが決った。忍辱山国有林の経験者を中心に、整備活動と要員の育成を図ることになります。

(古川 祐司 記)

ならやま里山林自然観察レポート

10月9日(木)

フジバカマが満開です。シジジャー、ヒャクニチソウ、コスモスもまだ咲いています。

シンボルツリーの柿もたわわに実を付け間もなく収穫期を迎えます。山にはシバグリが沢山落ちていました。

野ではイヌタデ、ハナタデ、セイタカアワダチソウ、ツユクサ、ミノソバ、タデアイ、キツネノマゴ、チジミザサ等色とりどりの花が競合しています。つる性植物のカナムグラ、ヤブガラシ、アレチウリも精一杯つるを伸ばし花を咲かせています。

(林 令子)

*** ならやま花便り ***

ならやまは今、秋草の花盛りです。美しく色づいた名物ツルノコ柿の大木を背景に、山野草エリアには、ホトトギス、アオバナホトトギス、フジバカマ、ミズヒキソウなど。花壇には、ハナナス、キツネナス、コスモス、百日草、ハナジンジャー、などが咲き乱れて、サイクリング、ジョギング、散歩する人々の目を楽しませています。

思わず立止まって声をかけてこられる人も多々あり、景観形成活動の絶好の PR チャンスをなっています。そう云えば、10月18日(土)の午前中、フジバカマにアサギマダラも来て吸蜜していました。渡りの時期が近いのでしょうか。

まだ、一度も来ていただけない方、心ならずもご無沙汰のメンバーさん、一見の価値はありますよ。一寸足を伸ばしてみられては如何でしょう。(古川 祐司 記)

ならやまの昆虫………晩秋から冬へ

菊川 年明

秋もいよいよ深まりましたので、おおかたの昆虫は次世代に生命を託してならやまから姿を消し、淋しくなりました。次世代を引き継ぐ子孫たちは落ち葉の下、土中、朽木の中などで卵、幼虫あるいは蛹の姿で厳しい冬に備えています。しかし、一部の昆虫は成虫のまま越冬します。晩秋や冬の暖かい日に姿を現すのはアカタテハ、ルリタテハ、キタテハ、ムラサキシジミなどのチョウです。日だまりで羽をいっぱい広げて日光浴をしている姿をよく見かけます。

チョウ類以外ではオサムシ、クワガタムシの一部(コクワガタなど)、テントウムシの一部、ツチイナゴ、クビキリギス、ミツバチ、スズメバチ類の女王バチ、カメムシ類の一部などが成虫で越冬します。カメムシやテントウムシは人家を越冬場所にするものもあります。カメムシが暖かい部屋へ入り込んできますと、俄然元気になり、臭い匂いをまき散らしながら電灯の周りを飛び回って、家人を辟易させることがあります。そのほか、人家の片隅でクビキリギスがひっそりと越冬しているのを見かけることもあります。

オサムシは昆虫ファンにとってなかなか人気のある昆虫グループです。この虫は往々、日当たりのよい崖の土中で越冬しますので、その収集家には冬こそシーズン到来で、シャベルや手鋸を武器にオサムシ採りに挑戦します。崖の土を掘り起こすことで、簡単に、たくさんの種類を手に入れることができるそうです。土の中で眠っているところを御用にしますので、芋掘りみたいなもので、「オサムシ掘り」ともいうそうです。ちなみに、漫画家の手塚治虫氏(故人)はオサムシ大好きな昆虫少年だったそうで、初期にはペンネームを手塚治虫(オサムシ)と名のり、その後、治虫=オサムに改めたということです。

ならやまにおいても、これからの季節、目の付けどころによっては、幼虫や蛹なども含めて、それなりに興味深い昆虫観察ができるのではないのでしょうか。私は昨冬、ベースキャンプ前の山中で、朽木の中からオサムシの仲間のマイマイカブリ、少し珍しいオオツノカメムシなど数種の昆虫を発見しています。ベースキャンプ周辺ではキタテハなど越冬チョウの日光浴が見られるでしょうし、枯れ草の中からひょっこりツチイナゴが現れるかもしれません。自転車道の側溝に溜まった腐葉土の中にはカブトムシの幼虫がいるかもしれません。これらはほんの一例で、シーズン中の昆虫観察も一興かと思えます。



キタテハ

『奈良・人と自然の会』の体験と思い

古川 浩(平成20年4月入会)

兵庫県豊岡市。

絶滅したコウノトリを「野生に返す」で一躍、知名度が高まった田舎町。私の故郷です。18歳まで百姓を手伝いコウノトリと共生していました。その後、農薬が原因で絶滅してしまいました。5年前に人工飼育した「コウノトリを野生に返そう」の運動がはじまり私も早速、メンバーに入りました。

コウノトリを野性に返すには「自然環境の復元が基本である」と認識、基本を学ぶためにシニア自然大学で学習を開始し、現在(同研究部環境科所属)に至っております。

この4月より「奈良・人と自然の会」にお世話になったのも「自然環境の復元、保護、保存」など共通の目標であった為です。

入会して7か月を経過しましたが奈良盆地独特な景観と環境が気に入り、ロケーションも抜群で、年齢を感じないチャレンジ精神に富み、独創的で創造力、技術力豊かな先輩に恵まれて、いろいろな事を教わりながら、マイペースで楽しく作業が出来るので自己満足に浸っている次第です。

さらにササユリ、クワガタ、ハイタカなどいろいろな貴重な動植物が見られる自然環境が残っていることは何となく心強い限りです。

これからはエリア内に現存する広大な自然林を整備・保護し、草花、野菜、穀物づくりを継続しながら、段階的に「大島桜などの花木ゾーン」、「トチノ木、シイノ木などのゾーン」、「りんご、枇杷、桃、杏などのフルーツゾーン」、「栗、梨、柿、梅などのゾーン」を作り、ボランティア活動後の収穫の楽しみと景観のレベルアップになりうるような樹木、花卉等を植えて、いろいろな野鳥が飛来する自然環境づくりに貢献できればと思っております。

奈良に住んで10年

松尾 京子

奈良・人と自然の会の会員になって半年。会報でやっと都合のいい例会をみつけて勇んで申し込みましたが、2回とも雨で中止、結局参加したのは、新入会員歓迎会のみ！いつもいい企画なのに残念です。新入会員歓迎会のあたたかい雰囲気と創造的な野外料理の数々に感心しました。会報もいつも楽しみに読んでいます。川井前会長の季節感あふれる俳句をはじめ、奈良の自然、歴史、文化について教えられることが多いです。奈良に移り住んで10年、しみじみいいところだなーと思います。とくに、桜の咲く頃はこんなところにも桜の木があったのかと心が華やぎます。奈良の自然を大切に育てる活動にほんのささやかなお手伝いでもできたらいいなーと思い入会しました。例会だけでなく、ならやまプロジェクトにも参加してイチゴやブルーベリーなどつくってみたいです。今後ともよろしくお願いします。



奈良・人と自然の会に入会して

清水 章子

子どものころ、和歌山市の郊外に住んでいました。今はもうすっかり町になってしまいましたが。学校から帰ると鞆を放り出し、網とバケツを持って近くの小川や田んぼへ直行していました。その頃は田のあぜ道にも、小川のほとりにも、野道にも、多種多様の生きものたちが住んでいて、みな大切な友達でした。神社の大きなムクノキの実が熟す頃は弁当箱いっぱいのおみやげができました。今はすっかり様変わりして、家、家、家です。

4月5日 奈良・人と自然の会に入会させていただいて、はじめての行事で大仏鉄道と鹿背山城跡へ。当日、ちょっと緊張しながら加茂駅に下り立ちました。集合した時、温かい会の雰囲気はほっとして楽しい一日を過ごさせていただきました。

5月6日 新入会員歓迎会のために、先輩が高の原駅までお迎えに来てくださり、はじめて、ならやま里山林ベースキャンプを訪れました。いつも国道24号線を車で走っているそのすぐそばに、こんなすてきな場所があるなんて、大発見でした。先輩方のそれはそれはお心のこもった素晴らしいお料理をごちそうになり、歓待していただき、大感激。ありがとうございました。友人とは「来年は私達も・・・」と話し合ったことでした。これからもよろしく願い致します。

何にも出来ませんが…！

森 英雄

会社定年と同時に待望の四国歩き遍路に出かけ、それからは毎年、春に四国を廻る事になって順打ち(1番から88番まで)と逆打ち(88番から1番まで)合わせて4回歩きました。

その流れで矢田寺遍路道保存会で保全活動などを少し始めながら、シニア自然大学に入学。大学では、毎週の講座よりも“反省会”(要するに飲み会)の方に熱を入れていた劣等生ではありましたが、自然に対する色々な見方・考え方などを楽しく教えていただけたと思います。

最初に受けた教育実習は去年4月の「生駒棚田クラブ」でした。メンバーが夫々の仕事を楽しんでいる姿を見るにつけ、私も里山に関する事をやっていきたいという気持ちは決まったように思います。昼食時に「奈良市内にもっと広い土地でこれから色々な活動をしていきたい場所があるんだよ。どうですか？」と白髪・長靴の人から声をかけられた記憶がありますが、今思うと「奈良 人と自然の会」の川井前会長でした。不思議な縁を感じます。

奈良の里山クラブに入りたいという事で見つけたのがこの「人と自然の会」。自然大学の卒業を待たずに入会させて頂きました。何も強みはありませんが、とにかく色々な事を勉強させて頂こうと、忍辱山や里山での作業・子供相手のイベント等に参加しました。これから前向きな明るく楽しい雰囲気の中で、楽しんでいきたいと思っています。よろしく願い致します。



今年の秋に別れの言葉はつらい

谷川 萬太郎

涙の数だけ降り積もる枯葉が重なるように 寂しく冷たい体を寄せ合いながら

やがて訪れる冬から惜しまれる秋に 別れの言葉が送られる日が来るのは辛いけど

今年の秋も忍び寄る雪空を逃れ落ち葉のように 季節の川を下り長い旅路に出るのだ

北から南へ下る冬将軍は無情にも 秋への郷愁を抱く胸に吹きつける冷たい風穴だ

そう遠くない冬が幻の衣を脱ぎ捨てたのを 眠りについた明日の夜明けは知っている



ミノムシ出世物語—9月うちの庭に大発生したミノムシの一部を欲しいと言われ知人に分けてあげたところ珍しいから展示させてということではいまや万博公園自然観察館の展示室に説明文付きで展示されています。これはオオミノガのミノムシで1990年代後半から外国からきたオオミノガヤドリバエに寄生されて現在では見かけにくくなっているんだそうです。

・庭でなんか視線を感じたんです。そしたら目玉(5ミリと3ミリくらい)が二つこっちを見ている・・・何 これとアケビに近付いて見たら茶色で5センチくらいの大きないもむし！きゃー！ 調べたらアケビコノハという蛾の幼虫で8月に多く発生しアケビの葉を食べ 驚くと体を丸めて大きな目玉模様を見せるんだって。こっちがびっくりです まったく。(齋藤)

★ (斑鳩)神南高圧線にコシアカツバメ

10月8日 30羽 11日 186羽

14日 7羽・15日 51羽・17日 80羽

20日 60羽・22日 160羽

- ・ 大和川にオンドリのみ初お目見え 12日
- 17日 20日・21日初めは換羽の途中なので12日頃はあまり美しくなかったのですが、20日頃は美しくなっていました。
- ・ 9月 27日コガモ初認・10月 5日マガモ初認

(勝田)



大和川にて マガモ♂・♀

★10月19日（日）本誌:76号に投稿の『奈良県のフジバカマが絶滅』に記載したアサギマダラが我が家の庭でam7:30 1頭が飛翔を始める。早速、満開のフジバカマの花に取付いた新鮮なオスは性ホルモンの材料PAをしっかりと摂取するまで写真撮影も気に留めずに恍惚(?)の状態で吸蜜に熱中。約1時間花を渡り歩いた後は優雅な姿で飛び立って行きました。この後「ならやま里山林」のフジバカマへの飛来観察では残念ながら確認出来ませんでした。間もなく吸蜜に来るのが楽しみです。
(弓場)



* 原則：前日午後7時前のNHK天気予報で降水確率（午前）60%以上の場合は中止*

『ならやま里山林プロジェクト11月の予定』

このプロジェクトは三井物産環境基金の助成を受けています

場所 奈良市奈良坂町・佐紀町の県有林（JR平城山駅下車徒歩10分）

—「ならやま会館」前の道路（ならやま大通り）の南側に広がる林地—
（案内図が入用の方は、下記問合せ先までご連絡下さい）

日時 11月6日（木） 一般活動・教育実習生受入れ、タマネギ植付け
11月18日（火） ならやま山の日 里山観察路整備
11月22日（土） 一般活動・教育実習生受入れ
11月30日（金） 一般活動

いずれも 9時集合 3時終了の予定

（当面の間、火、金 9時～11時 ならやま当番2名が現場に駐在します）

集合 現地ベースキャンプ地

交通 ①近鉄奈良駅 バス13乗場8:23発 高の原行

②近鉄高の原駅 バス1番乗場8:30発 JR奈良行

①、②とも佐保台西口、または平城大橋下車 徒歩約7分

携行品 弁当、飲み物、軍手（作業用具は現地に用意しています）

活動内容

- ・里山林整備、環境整備、植生調査、放置田跡の笹刈、花木植栽等の景観形成
畑作業は、除草、秋冬野菜植付け、有機栽培のための堆肥作り

景観クリエイター募集

里山にふさわしい景観を作りたいと思っています。花、樹木の植栽に関心のある方を募集します。また、花壇・山野草類の育成についてアイデアや苗をご提供下さい。また果樹の苗なども寄贈いただければ幸いです。

（申込み・問合せ先： 古川

小嶺

ご参加
お待ちしております

～ ならやまの鳥調査が始まりました ～ 小田 久美子

「なら山の鳥たち」の調査を始めることになりました。野鳥の会奈良支部・川瀬支
指導・協力を得て、「2年間」を一つの目途としデータを集めて行きたいと思いま

☆「毎月第二月曜日」を定例とします。次は11月10日(月)です。

☆集合場所 : ならやま駐車場 8:50 (9:00 出発 11:00 頃解散)

☆観察場所 : 里山林散策路内の**定点**及び**定線観察**

☆持ち物 : 双眼鏡・飲み物・歩きやすい服装 (お弁当・雨具は適宜)

定例日に実施することを原則に、小雨決行です。判断の難しい時は担当者に問い合
お出かけ下さい。(中止の時は次週に順延)

担当者 小田 [] 菊川 : [] ; 勝田

10月13日予備調査を実施し「定点、定線」
の観察地を選定、弓場・菊川・勝田均、緑・
守口・小田と野鳥の会—川瀬氏の7名で廻
りました。この地域の情報や気付かれたこ
と、ご連絡お待ちしております。11月は
「三之公一泊研修日」と重なりましたが、
会員有志の方のご協力を得て実施したい
と思います。



(鳥 定点観察中)

【奈良忍辱山森林整備作業】

場 所 : 奈良市忍辱町 国有林 駐車場より徒歩10分東海自然歩道沿いの二次林。

集合場所 : 国道369号線—忍辱山町自治会共有地(池のそば) 駐車場
(奈良交通バス停 忍辱山円成寺口下車 少し戻る南川側)

日 時 : 11月13日[木] 予備日 11月26日(水)

【集合時間10:15より、終了予定Pm3:00ころ】

交 通 : 奈良交通バス 近鉄奈良駅前バス乗り場④番 9:40 柳生・月ヶ瀬温泉行き
(持ち物) 作業のできる服装、昼食、飲み物、手袋、 用具は、準備していますが、

お手持ちのものあれば持参ください。ご参加お待ちしております!!

(連絡先) 弓場厚次 [] 明石嘉一郎 [] 、板橋宏昌 []

作業報告：10月22日（水） 曇りのち雨 「一日森林体験会」実施

奈良森林管理事務所－河面調整官、落窪流域管理調整官指導。参加者12名 AM10:00
PM1:45 雨が本降りになってきて、作業中止し解散した。

ヒノキ、スギの混在する「人工林」での作業。参加者全員が、初心に戻って、間伐整備を両指導官より学んだ。山全体は、やや細い樹木の印象であったが、伐採してみると意外に太さもあり、10メートル前後の長さでした。ヒノキの枝は、スギのそれに比し、強靱で、ロープを掛けていても「枝懸かり」すると、はずすのに時間をとられた。二次林の作業と違って、伐倒は、爽快感があり達成感を味わえました。各自配布資料による学習をすることとし、本降りの雨に早く終了しました。

11月例会「吉野川源流を探る」

－日本最古の人工林と国指定天然記念物トガサワラの谷を訪ねる－

申込みは締切りました。

当日の晴天を祈りつつ、参加者の皆様のご出席をお待ちしております。

日時：11月10日（月）～11日（火） 雨天実施

集合：10時30分 近鉄大和上市駅 改札口

行き先：奈良県吉野郡川上村

宿泊先：入乃波（しおのは）温泉 「五色湯」

奈良県吉野郡川上村入乃波

担当幹事：古川祐司

弓場厚次

<12月の予定>

12月例会「山背古道と忘年会」

日時：12月15日(月)

1. 山背古道散策 ～いにしへの史跡を巡る～

集合：JR棚倉駅 10時15分 解散：午後3時頃

*詳細は12月号でお知らせします

2. 忘年会 ～1年間の苦勞を忘れ去り、楽しいひと時を過ごしましょう～

時間：午後4時50分集合 5時開始～7時終了

場所：坐・和民奈良三条通り店（JR奈良駅から徒歩3分）

内容と会費：食事(2800円)+飲み放題(1200円)合計4000円のコース

申込：11月例会やならやま活動日などに申込受付名簿に記入してください。または
守口までeメールかファックスください

その他：忘年会は雨でも行います

「いこま棚田クラブ」の活動日 ご案内

11月活動日・・・2日(日)、10日(月)、16日(日)、24(月)、30(日)

集合場所と時間：近鉄生駒駅下車、南口側ケーブル駅西隣セブンイレブン前 AM9時集合
現地まで車で移動15分。弁当・飲み物持参下さい。

*11月の作業は、菜の花間引き、石垣出し、草刈り、里山整備等です

奈良・人と自然の会 10月度幹事会議事録

日時：平成20年10月7日(火) 場所：中部公民館 司会：弓場 記録：板橋

報告事項

- ① 会員在籍：102名 預金残高：¥955,518
- ② 例会：赤埴の巨樹と佛降寺 降雨率80%にて中止。
- ③ 忍辱山森林整備作業：9月17日(水) 参加者：8名 10月22日
- ④ ならやま里山林プロジェクト：※ならやま当番制。火・金に2名。畑、機材の点検※芋掘り参加50名(家族24名)※初めての教育実習認定行事に10名参加。樹林調査、竹間伐※今年4-9月は計画通り推進。延べ参加者506人14回(昨年147人)臨時に30回
- ⑤ 講師派遣：9/18 シニア「海と森の自然科」8名参加 阿部、林、弓場の3名が案内
- ⑥ 環境フェア：9/20 パネルと竹工作で好評であった。岩田、竹本、小嶺が参加
- ⑦ 三井物産環境基金報告会：11/28~29 東京：三井物産本社へ当会より川井顧問参加。
- ⑧ いこま棚田クラブ：9月は4回例会。里山林整備は今年で終了。2年の期間延長申請。
※野鳥の会(川瀬会長)「ならやま」での定点観測を毎月第2月曜日実施。会員参加歓迎
※奈良県北部でソテツの新芽を食べる「クロマダラソテツシジミ」の発生を橿原市昆虫館に報告した。(弓場、古川、菊川、の記録…「奈良・人と自然の会」会員として。)

確認事項 ①10-12月スケジュール

※例会：大和三山と藤原京：10/29。 吉野川源流を探る：11/10-11。 山背古道 及び 忘年会：12/15。 ※新春講演会：1/31 <講師は上甫木氏>。 ※忍辱山：10/22・11/13・(11/26 予備)・12/10・(12/17 予備)。 ※ならやま：10/9(いも堀り)・10/25・10/26・10/31・11/6・11/18(山の日)・11/22・11/30・12/11(いも煮会)・12/20(サトイモ掘会) 12/4(山の日)・12/6(リース作り)。 ※黒髪山自然塾：11/23。

② 2月度例会 湖北探鳥会 2/25(水) A社の25人乗りバスにて¥3,500で募集。

討議事項 21年度助成金の申請について

編集担当：勝田 均

【当会の行事における傷害事故等については個人負担とし、当会は賠償等一切の責任は負いません】

奈良・人と自然の会事務所

会長 阿部 和生